

第63回男子・第36回女子全日本学生ホッケー選手権大会 結果報告

第63回・第36回女子男子全日本学生ホッケー選手権大会

第 3 日

開催日時 11 月 3 日 (月) 会場 岐阜県グリーンスタジアム 天候 晴れ

【全試合結果】

| | | | | | |
|-------------------------------|--------|---|--|---|--------|
| A第1試合 女子 ----- 9:30 | 東海学院大学 | 3 | $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ | 0 | 中京大学 |
| A第2試合 女子 ----- 11:10 | 山梨学院大学 | 5 | $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ | 0 | 早稲田大学 |
| A第3試合 男子 ----- 12:50 | 立命館大学 | 3 | $\begin{pmatrix} 3 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ | 0 | 聖泉大学 |
| A第4試合 男子 ----- 14:30 | 明治大学 | 1 | $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ | 1 | 駿河台大学 |
| SO2-0 | | | | | |
| B第1試合 女子 ----- 9:30 | 立命館大学 | 6 | $\begin{pmatrix} 4 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \end{pmatrix}$ | 1 | 駿河台大学 |
| B第2試合 女子 ----- 11:10 | 慶應大学 | 0 | $\begin{pmatrix} 0 & - & 5 \\ 0 & - & 4 \end{pmatrix}$ | 9 | 天理大学 |
| B第3試合 男子 ----- 12:50 | 早稲田大学 | 0 | $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 5 \end{pmatrix}$ | 7 | 天理大学 |
| B第4試合 男子 ----- 14:30 | 朝日大学 | 1 | $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 1 & - & 0 \end{pmatrix}$ | 1 | 山梨学院大学 |
| SO5-3 | | | | | |

【各試合の結果・詳細】

第1試合

$$\text{東海学院大学 } 3 \begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 1 - 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 中京大学}$$

<得点>

東海学院大学：16分佐々木、30分清水美、69分清水美

中京大：

<戦評>

中京大学のセンターパスにより前半戦が開始。東海学院大学は早々から果敢に攻め込みサークルインを狙うも、中京#9廣瀬を中心とした粘り強い守備によりなかなかシュートを打つことが出来ない。16分東海学院はPCを取得。#6佐々木がヒットシュートを決めて先制点を挙げる。追い付きたい中京は、混戦の中#11竹市がリバースシュートを打つも東海学院GK#1清水が好セーブをする。30分東海学院はPCを取得。#9清水がこぼれ球をリバースヒットで打ち込み2-0とし、前半戦を折り返した。

後半戦が開始され、追い付きたい中京は41分、42分と立て続けにPCを取得。チャンスを作るも押し切ることが出来ず得点には繋がらない。東海学院は素早いリスタートで攻撃の手を休めない。中京は#11竹市、#15澤の巧みなパスワークで東海学院に攻め込むも、堅い守備によりチャンスを生かせない。56分、63分、66分と立て続けに東海学院がPCを取得。得点には至らない。69分東海学院#9清水が右からの回り込みで放ったボールに合わせて3-0とし、東海学院が準決勝にコマを進めた。

| | | | |
|------------|-------|-------|-----------|
| テクニカルオフィサー | 松下 正寿 | アンパイア | 我妻 順子 |
| ジャッジ | 後藤 憲則 | | 藤原 真由美 |
| | | 細江 秀和 | リザーブアンパイア |

第2試合

$$\text{山梨学院大学 } 5 \begin{pmatrix} 2 - 0 \\ 3 - 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 早稲田大学}$$

<得点>

山梨学院大：13分佐藤、28分河村、42分河村、46分山田、48分五島

早稲田大学：

<戦評>

早稲田大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がりから激しい攻防が繰り広げられる。13分山梨学院大学がPCを取得。#8佐藤がリバウンドボールをダイレクトで決めて先制点を挙げる。25分山梨学院が再びPCを取得するも早稲田の堅い守備により得点には至らない。28分山梨学院はサークル内の混戦から#26河村が押し込み2-0とする。点差を縮めたい早稲田はGK#16南を中心とした粘り強い全員守備でゴールを死守し、攻撃に繋げるも得点には至らない。2-0と山梨学院がリードし前半戦を折り返した。

後半戦が開始。42分山梨学院がPCを取得。#9浦島がリバースシュートを打ち、リバウンドボールを#26河村が押し込み3-0とする。46分、勢いに乗った山梨学院は#5山田が豪快なヒットシュートを決めて4-0とする。早稲田はパスカットやブロックからパスを繋ぎ攻撃を仕掛けるが、サークル内まで持ち込むことが出来ない。48分山梨学院#7五島が得点し、5-0とする。そのまま試合は終了し、山梨学院が準決勝にコマを進めた。

| | | | |
|------------|-------|-------|-----------|
| テクニカルオフィサー | 鹿野 育郎 | アンパイア | 松村 満 |
| ジャッジ | 西脇 栄子 | | 山本 誠 |
| | | 後藤 憲則 | リザーブアンパイア |

第3試合

$$\text{立命館大学 } 3 \begin{pmatrix} 3 - 0 \\ 0 - 0 \end{pmatrix} 0 \text{ 聖泉大学}$$

<得点>

立命館大学 : 20分田中、21分植田、29分大橋

聖泉大学 :

<戦評>

立命館のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がりから両者一步も引かない攻防が続く。4分、5分立命館が立て続けにPCを取得するが、惜しくもポストに阻まれ得点には至らない。20分立命館がPCを取得。さらにPSを取得。#8田中が左上隅に冷静に決め先制点を挙げる。21分、勢いに乗った立命館は#10植田がゴール前で合わせ2-0とする。29分#9大橋が得点し3-0とする。追い付きたい聖泉も果敢に攻めるが得点にすることができず、前半戦を折り返した。

後半戦が開始。勢いがある立命館が果敢に聖泉陣内に攻め込む。聖泉#2中島のドリブル突破から#17越智への縦パスでシュートチャンスを作り反撃を仕掛けるが、惜しくも得点には繋がらない。54分聖泉がPCを取得するも得点には至らない。61分、62分立命館がPCを取得するも決めきることが出来ない。終了間際69分、70分聖泉大学がPCを取得。チャンスを作るも得点には至らない。そのまま試合は終了し、3-0と立命館が準決勝にコマを進めた。

| | | | |
|------------|-------|-----------|-------|
| テクニカルオフィサー | 松下 正寿 | アンパイア | 木下 英貴 |
| ジャッジ | 遠藤 博行 | | 野澤 達 |
| | 細江 秀和 | リザーブアンパイア | 我妻 順子 |

第4試合

$$\text{明治大学 } 1 \begin{pmatrix} 1 - 0 \\ 0 - 1 \end{pmatrix} 1 \text{ 駿河台大学}$$

SO2-0

<得点>

明治大学 : 9分谷光

駿河台大学 : 58分大石

<戦評>

明治大学のセンターパスにより前半戦が開始。9分明治がPCを取得。#2谷光の華麗なフリックシュートで先制点を挙げる。対する駿河台大学は、安定した展開からサイドを使った攻撃で明治陣内に攻め込むも、なかなかシュートを打つことが出来ない。両者一步も引かない互角の勝負が続く。明治が一点をリードして前半戦を折り返した。

後半戦が開始。38分明治がPCを取得。#2谷光がフリックシュートを打つが駿河台GK#1藤井が得点を阻む。55分明治がPCを取得。#2谷光がシュートを打つがポストにあたる。58分駿河台がPCを取得し#2大石のフリックシュートがゴール右上に決まり1-1の同点に追い付く。64分明治PCを取得するも、得点には至らずそのままSO戦にもつれ込んだ。

SO戦は、1人目はお互いに決めきることが出来ない。2人目は先行の駿河台は明治GK#1國友の好セーブにより決まらない。後攻の明治#10安部は左でかわし、リバースシュートを決める。3人目駿河台#2大石は右にかわしヒットを打つが決まらない。明治#2谷光はフェイントからリバースヒットを決め2-0とする。4人目駿河台#29大橋はフェイントをGK#1國友チェックされ得点とはならず2-0で明治大学が準決勝に駒を進めた。

| | | | |
|------------|-------|-----------|-------|
| テクニカルオフィサー | 鹿野 育郎 | アンパイア | 富山 喜正 |
| ジャッジ | 西脇 栄子 | | 成田 健一 |
| | 遠藤 博行 | リザーブアンパイア | 松村 満 |

Bコート
第1試合

立命館大学 6 $\begin{pmatrix} 4 - 0 \\ 2 - 1 \end{pmatrix}$ 1 駿河台大学

<得点>

立命館 : 10分一谷奈、17分一谷奈、18分一谷麻、29分石川、43分一谷奈、68分木原
48分尾関

駿河台大学 :

<戦評>

立命館大学のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々から攻防が続く中4分、立命館がPCを取得。#5一谷麻がヒットシュートを打つもゴール左側に外し得点には至らない。10分に再び立命館はPCを取得。#11木原のヒットを駿河台#17河村が阻止するが足に当たり再びPCとなる。#11木原のヒットを#17一谷奈が受けプッシュシュートで先制点を挙げる。17分にもPCを取得した立命館はまたも#17一谷奈がプッシュシュートを決める。さらに18分にもPCを取得し#5一谷麻のヒットシュートがゴール中央に突きささり3-0とリードを広げる。反撃を仕掛ける駿河台もサークルインするものの得点には繋がらない。29分立命館は前線にボールを運び#5一谷のシュートを駿河台GK#12長岡に止められるが#8石川が素早い反応を見せリバウンドを拾い4点目を加え、4-0で前半戦を折り返す。

後半戦が開始されると流れをつかもうとする駿河台が果敢に攻める。38分駿河台#17河村のセンターリングを#2武井がタッチするが、惜しくも枠には入らない。追加点を狙う立命館は43分#17一谷奈のヒットシュートで5点目得る。48分駿河台がチャンスを迎え、右側からサークル内に入り込んだ#10尾関が相手と競り合いながらもリバースシュートを打ち得点する。波に乗りたが駿河台は54分にPCを取得するが立命館の堅い守備に阻まれる。68分立命館がPCを取得。#11木原がヒットシュートを決め6-1で立命館大学が準決勝へ駒を進めた。

| | | | |
|------------|-------|-----------|-------|
| テクニカルオフィサー | 大橋 守 | アンパイア | 戸塚 洋介 |
| ジャッジ | 苅谷 和代 | | 穴井 孟司 |
| ジャッジ | 蔦木 勝 | リザーブアンパイア | 高橋 英行 |

第2試合

慶應義塾大学 0 $\begin{pmatrix} 0 - 5 \\ 0 - 4 \end{pmatrix}$ 9 天理大学

<得点>

慶應義塾大学:

天理大学 : 1分荒川、16分牟田、20分吉本、23分石和、28分田村、37分荒川、47分松本
48分勝又、64分高山

<戦評>

慶應義塾大学のセンターパスにより前半戦が開始された。開始1分天理大学#10江村がヒットシュートで先制点を挙げる。その後も天理の猛攻撃が続き何度もサークルインするが、慶應が全員守備でゴールを堅く守り追加点を許さない。16分、天理#3牟田がヒットシュートを決め2-0とする。ペースを掴んだ天理は20分#14吉本、23分#7石和、28分#10江村がヒットシュートを決め一気に点差を広げ、5-0で前半戦を折り返す。

後半も天理ペースで試合が進み、立ち上がりから前線へボールを送った天理は36分#27河津がリバースヒットで6点目を挙げる。47分天理#11松本のリバースヒットが決まり7-0とする。48分#29勝又がタッチシュートを決め8点目を挙げる。慶應は#2境のロングヒットからゴールを目指すが、天理の厚い守備を打ち破ることができない。57分天理は連続して4本のPCを取るが、慶應GK#1寺岡が何度も好セーブを見せ得点を決めることが出来ない。64分#8高山がヒットシュートを決め9点目をあげる。9-0で天理大学が圧勝し準決勝へ駒を進める。

| | | | |
|------------|-------|-----------|-------|
| テクニカルオフィサー | 今庄 充世 | アンパイア | 石橋 徹也 |
| ジャッジ | 岩田 順充 | | 山中学 |
| ジャッジ | 梶田 賢二 | リザーブアンパイア | 近藤 聡史 |

第3試合

$$\text{早稲田大学 } 0 \begin{pmatrix} 0 & -2 \\ 0 & -5 \end{pmatrix} 7 \text{ 天理大学}$$

<得点>

早稲田大学 :

天理大学 : 4分黒川、28分膳棚、41分膳棚、53分山城、61分石川、68分石川、70分橋本

<戦評>

早稲田大学のセンターパスにより前半戦が開始。立ち上がり早稲田はPCを取得。#2田中がスイープシュートを打つが枠をとらえることが出来ず先制できない。反撃を仕掛けた天理は4分#10黒川がリバースヒットを打ち先制点を挙げる。追いつきたい早稲田も攻め続け、チャンスはあるものの得点には至らない。反転パスから天理が攻撃に入ると、28分にPCを取得。#8膳棚がドラックシュートを決め、2-0で前半戦を折り返す。

後半の立ち上がりは一進一退の攻防が続く。41分に天理がPCを取得すると#8膳棚がドラックで3点目を決める。点の欲しい早稲田は53分にPCを取得するが#2田中のヒットはGK#18吉川の好セーブにより得点には結びつかない。53分天理は#13山城のタッチシュートでさらに点差を広げる。早稲田も60分にPCを取得しチャンスをつくるが得点には繋がらない。61分、天理#15石川のヒットシュートでさらに点差を広げ、68分に#15石川、70分#12橋本が追加点を挙げる。7-0で天理が圧勝し準決勝に駒を進めた。

| | | | |
|------------|-------|-----------|-------|
| テクニカルオフィサー | 大橋 守 | アンパイア | 高橋 英行 |
| ジャッジ | 苅谷 和代 | | 渡邊 道彦 |
| ジャッジ | 鳶木 勝 | リザーブアンパイア | 穴井 孟司 |

第4試合

$$\text{朝日大学 } 1 \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & -0 \end{pmatrix} 1 \text{ 山梨学院大学}$$

SO5-3

<得点>

朝日大学 : 40分武田

山梨学院大学: 4分安部

<戦評>

朝日大学のセンターパスにより前半戦が開始。開始早々から激しい攻防が進む。4分山梨がPCを取得。朝日DFが阻止したと思われたがPSとなり#2安部が冷静にゴール左上に決め先制点を挙げる。朝日も攻め16分PCを取得。#9森がスイープシュートを打つが山梨の守備に阻まれる。終始激しい攻防が続く、両チームともチャンスはあるものの得点には結びつかず1-0で前半戦を折り返す。

後半戦も激しい攻防が続く。朝日#8片平が右側からサークル内にボールを持ち込んだところを山梨GK#1今井が抑えたがPSとなる。#4武田が左上に決め同点に追いつく。46分、47分、48分と朝日は連続してPCを取得し#3福山、#4武田のヒットが炸裂するが、山梨の堅い守備を破ることが出来ない。その後両チームとも一歩も譲らず後半戦は終了しSO戦となる。

SO戦、一人目はお互いに決める。二人目先攻の朝日は#21川畑がGKをかわしブッシュシュートを決める。山梨は#10松本がリバースヒットを打つが朝日GK#1坂井田に止められ2-1となる。三人目、四人目はお互いに決める。五人目朝日#5山田がスイープで決め、5-3で朝日大学が準決勝に駒を進めた。

| | | | |
|------------|-------|-----------|-----------|
| テクニカルオフィサー | 今庄 充世 | アンパイア | Fong Geng |
| ジャッジ | 岩田 順充 | | 近藤 聡史 |
| ジャッジ | 梶田 賢二 | リザーブアンパイア | 戸塚 洋介 |